高槻病院

外科

指導担当医（役職）

千堂　宏義（副院長）

実習概要

実習コース

４週間コース

概要

消化器外科の主治医団の一員として診療に参加します。指導医と共に数名の患者さんを受け持ち、毎日、医療面接・身体診察を行います。その内少なくとも1症例は術前から患者さんを受け持ち、術前管理・手術・術後管理と消化器外科の診療を具体的に学びます。カンファレンスでは担当患者さんの術前プレゼンテーションを行い、ディスカッションをします。当院は急性期病院のため、緊急手術症例も多く、緊急疾患の診察・治療についても学びます。また手術を受ける患者さんを実際に診療することで外科臨床での知識・習得だけでなく、患者さんに対する医師としての姿勢や人格向上の必要性も学びます。

実習スケジュール

1．主治医団としての実習：毎朝、担当症例を診察し、病状を把握する。指導医と毎日回診をする。検査、治療、ICにも同行する。主治医団担当の患者を複数（3~5人）担当する。
2．多職種合同術後カンファレンス（火曜日16時から）：外科医、病棟看護師、薬剤師、理学療法士との前週分の手術症例の検討。
3．術前カンファレンス（火曜日16時30分から）：翌週分の手術症例の検討。受け持ち患者さんのプレゼンテーションを行う。

4．手術（月曜日から金曜日）：清潔操作、手洗い、ガウンテクニック、縫合、結紮などの実習。担当症例はもちろん担当以外でも適宜助手として手術に参加。虫垂切除、ヘルニア手術などの症例では術者として執刀も行ってもらっています。
5．救急：指導医と共に診察。緊急手術については時間内まで(17時)参加。
6．ドライボックス実習：指導医と共に行う。任意。
7．病棟手技、検査見学：中心静脈カテーテル留置、ドレーン抜去、腹腔穿刺、胃管挿入・抜去、抜糸・抜鉤など。

学生へのメッセージ

当院は急性期病院・大阪府のがん拠点病院で消化管疾患や肝胆膵疾患を中心に年間約600例の手術を行っています。手術は可能な限り腹腔鏡で行っています。また肝胆膵疾患の高難度手術も行っています。消化器外科を目指す方、消化器外科に少しでも興味のある方、地域に根差した、地域医療を支える急性期病院ならではのリアルな消化器外科の日常を我々と共に体感し、学んでみませんか。